

教育カウンセリング研修会 秋田

## はじめてのエンカウンター

～子どもの承認・安全欲求に応えるために～

名城大学 曾山和彦

主催：学校におけるカウンセリングを考える会

2008.3.16

## 学びの雰囲気づくり ～アイスブレイキング～

1. フリーウォーク

2. 握手&自己紹介

3. 君こそスターだ

4. ネームゲーム

ホームグループ完成！

## 子どもの承認欲求に応える

～警鐘；「炭坑のカナリア」～

10歳前後までは身近な大人の言葉かけ

- ◆ 1日10回「褒める・勇気づける・認める」
- ◆ いつでもどこでも「この子のリソース(資源、財産)は何だろう？」と唱える

演習：リソース探し

10歳前後からは友人の言葉かけを加える

## 子どもの安全欲求に応える

**関係をつくり** 絶対的な信頼感を寄せられる存在として側に寄りそう

かかわりの中、「褒め、勇気づけ、認める」を繰り返すことで、よりよい関係が生まれる。「この人なら大丈夫」という信頼感・安心感のもとで子どもは生来の力を発揮する。

叱られても、また「先生～」と側に来る関係

## ルール・マナーを教えること

～10歳までの「教える生徒指導」～

してみせる；模範

言って聞かせる；教示、訓戒

褒める・勇気づける・認める；賞賛

身につくまで、さわやかに、しつこく！

ソーシャルスキル・トレーニング

## ルール・マナーを考えさせること

～10歳からの「考えさせる生徒指導」～

思い(イヤ、困る等)を伝える；アイメッセージ

疑問を投げかける；あれ？ そうだっけ？

身振りで示す；非言語メッセージ

気づいたら、「褒める等」

「教える・考えさせる」が逆になっていませんか？

## 叱るということ

子どもの気持ちに思いを馳せる

単純命令; しなさい

罪を憎んで人を憎まず; 「 はよくないこと。でも、あなたのことはとっても好きだよ」

<参考; 親野智可等先生「叱らないしつけ」(PHP)>

・学校、家庭での叱らないシステムを工夫する。

## 素晴らしい実践~三重県小学校K先生

2クラス合同体育。人権教育も関連させ、長縄跳びの授業。子どもたちの自治がある授業。

### 実践

・教師の気持ちをアイメッセージで徹底して伝えた(うれしい, ありがとう, 助かった, 悲しい, イヤだ, 困る等)。  
・子どもたちにも気持ちを伝えることの大切さを日々話し、やがて「本音を話しても大丈夫なんだ」という安心感が生まれ、お互いを大事にする認め合いも生まれ、満足感の非常に高い学級となった(アンケートQ-Uの満足群80%)。

## 現代の子どもとエンカウンター



低い自尊心

乏しい社会性

様々な問題行動  
(いじめ, 不登校, 非行等)

自尊心と社会性を育むことにより,  
多くの問題行動が解消されるだろう

エンカウンターは効果的な技法となり得る  
(特に自尊心の促進)

## 子どもたちの問題行動

適切な自尊心, 必要な社会性が身に付いていない子どもたちは次のような行動をとる

攻撃行動  
相手をやっつける  
(いじめ)

回避行動  
自分が消える  
(不登校)

注目行動  
目立とうとする  
(異装)

衝動行動  
突発的に動く  
(キれる)



## エンカウンターを活用した授業 ~NHKプロフェッショナルより~

学校・学級の温かな人間関係づくり

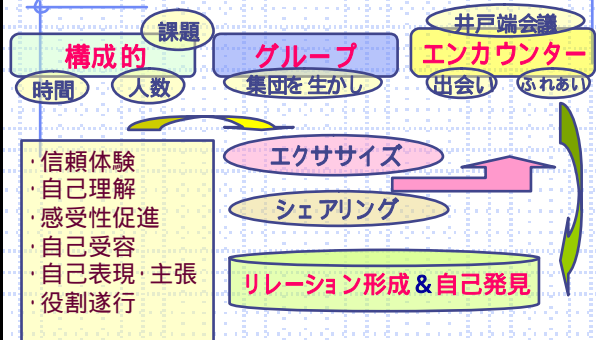
・つながりが、人を癒す

「プロフェッショナル」  
鹿嶋先生の実践

・つながりが、人を育てる

人は 人の中で 人になる

## エンカウンターのキーワード



## ベーシック・エクササイズの実験

トラスト・ウォーク；信頼体験エクササイズ

1. ペアの一人が目をつぶり、もう一人がサポートして室内を自由に歩く。
2. リーダーの指示に従い、役割を交代して行う。
3. お互いに役割を終えたら、ペアシェアリング。

ルールは、しゃべらないこと

## ラポールとリレーションの違い

ラポール  
プラス同士の感情交流

リレーション  
プラス、マイナス共に含む感情交流

付き合いはじめての  
男女の関係

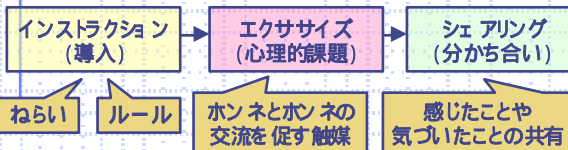
結婚生活の長い  
夫婦の関係



## 自己発見～ジョハリの窓



## エンカウンターの展開



エクササイズの「体験」を、シェアリングによって知的洞察することによって、体験が整理され、「経験」となる。  
「行動の実験室」で重ねた経験は、実際場面で般化され、生きるための「知恵」となる。

## エクササイズとゲームの違い

ねらいを「リレーションづくり」に置くと重なる「自己発見」をねらうのはエクササイズのみ



## シェアリングの意義

エクササイズ体験後にメンバー相互の知的洞察を行うことで行動(思考・行動・感情)変容を促す(「経験」としての蓄積を促す)。

シェアリングの工夫

- ・グループの人数を工夫する
- ・シェアリングのポイントを板書しておく
- ・ワークシートを使う

## エンカウターの留意点

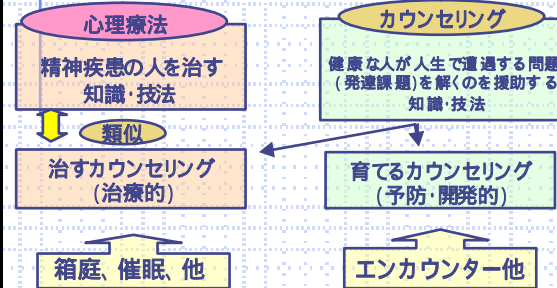
以下の点に留意すれば、誰にでもできる

自分自身がエクササイズを体験しておく

集団の実態に応じてアレンジする

抵抗の少ないショートエクササイズから

## エンカウターの理論的な位置づけ ~心理療法とカウンセリングは別と考える~



## まとめのエクササイズ

### いいとこ四面鏡; 自己受容エクササイズ

1. シートに自分の名前、メンバーの名前を記入する
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前の欄に、その人のいいところだと思う場所に 3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終わったら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に つけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に!

## おわりに ~三重県小学校「帰りの会」の実践

### さよならジャンケン; 信頼体験エクササイズ

- 1日10回「褒める・勇気づける・認める」の最後をしめる教師の工夫

基本あいさつを教える「スキルトレーニング」としても活用できるエクササイズ